



あなたがいたから、  
すべてを愛せる。

# かあ 母べえ

監督 山田洋次 主演 吉永小百合

吉永小百合 浅野忠信 檀れい 志田未来 佐藤未来 坂東三津五郎  
中村梅之助 笹野高史 でんでん 近藤公園 吹越満 左時枝 鈴木瑞穂 戸田恵子 大滝秀治 笑福亭鶴瓶

監督:山田洋次 プロデューサー:深澤宏、矢高孝 原作:野上照代「母べえ」(中央公論新社刊) 脚本:山田洋次、平松恵美子 撮影:長沼六男(JSC) 美術:出川三男 音楽:富田勲 ソプラノ:佐藤しのぶ 照明:中須岳士(JSL) 編集:石井巖 録音:岸田和美  
協力:埼玉県、川口市、東宝スタジオ 製作:「母べえ」製作委員会(松竹、住友商事、テレビ朝日、博報堂DYメディアパートナーズ、衛星劇場、日映、TOKYO FM、Yahoo! JAPAN、読売新聞、朝日放送、メーテレ) 制作・配給:松竹株式会社 [www.kabee.jp](http://www.kabee.jp) [NOT FOR SALE] photo by 金山







# 小さな茶の間を、 大きな時代が通り過ぎていく

巨匠・山田洋次監督が、吉永小百合主演で描く、激動の昭和

**解説** 大ヒット作『武士の一分』から1年、山田洋次監督の最新作『母べえ』がついに完成した。原作は、黒澤明監督作品のスクリーンライターを務めた野上照代の、読売女性ヒューマン・ドキュメンタリー大賞優秀賞を受賞した自伝的小説。舞台は昭和15（1940）年の東京。戦争反対を唱える父が囚われの身となり、残された母と幼い二人の娘が、周囲の人々の優しさに支えられ、様々な困難にあいながらも明るく懸命に生きる姿を描く。

主人公の「母べえ」こと野上佳代を演じるのは、名実共に日本映画界を代表する女優、吉永小百合。そして浅野忠信、檀れい、志田未来、笑福亭鶴瓶、坂東三津五郎ら実力派キャストが、つましくも心を寄せ合って暮らす人々の愛と悲しみ、そしてせつない希望に満ちたドラマを紡いでいく。ささやかな家庭の日常の中に映し出される激動の時代。長年にわたる原爆詩の朗読活動を通じて静かに平和の尊さを訴え続けている吉永小百合と山田監督の深い思いが込められた、心揺さぶる感動作である。

[www.kaabee.jp](http://www.kaabee.jp)

**物語** 昭和15年の東京。父と母、娘の初子と照美の野上家は、お互いを「父べえ」「母べえ」「初べえ」「照べえ」と愛称で呼び合う仲睦まじい家族だ。小さな家庭の穏やかな日常は、文学者である父・滋が治安維持法で検挙された朝から一変する。戦争に反対することが、国を批判するとして罪になる時代だった。

不安を募らせる母と娘たちのもとに、温かい思いやりを持った人々が次々に訪れる。父の教え子で出版社に勤める山崎は、父との面会申請のために奔走し、やがて一家から「山ちゃん」と呼ばれる大切な存在になる。父の妹で美しく快活な久子は、思春期を迎えた初子とおてんばな照美の良きお姉さん役で、いつしか山ちゃんにほのかな想いを寄せるようになる。そして、変わり者の仙吉叔父さんは、あけっぴろげで遠慮のない性格のため、いくつもの騒動を巻き起こすのだった。

離ればなれになった家族をつなぐのは手紙だった。まるで日記を書くかのように毎日の出来事を父に綴る初子と照美。そんな娘たちの成長を見守ることが母べえの心の支えだった。そんなある日、野上家に思いがけない便りが届く…。



映画盗撮は犯罪!  
発見したら  
[www.eigakan.org](http://www.eigakan.org)  
0120-550098  
映画館に行こう実行委員会 違法対策室

平和を考える市民映画会

8月12日(日) 午後1時30分開演 筑西市立生涯学習センター ペアーノ(関城支所隣)

①平和朗読劇 はらんきょうの会 ②映画「母べえ」上映(日本語字幕付) 入場無料  
■主催 筑西市 ■後援 筑西市教育委員会 <問い合わせ> 筑西市総務課 ☎24-2111(内線334)